

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



【シーアイ化成株式会社栃木工場】
労働組合より寄付金をいただきました
(けやき作業所)

特集

社会福祉法人こぶしの会保護者会
家族会研修会開催

No.274



～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

社会福祉法人こぶしの会保護者会 家族会研修会開催

社会福祉法人こぶしの会には、こぶし作業所、けやき作業所、セルプ・みらいに保護者会が、第二けやき作業所に家族会があります。

昨年暮れの押し迫った一二月七日、芳賀町工業団地管理センター大会議室を会場に、法人設立以来初めての「社会福祉法人こぶしの会保護者会・家族会研修会」が開催されました。これは、当法人が設立してこれまで、知的障害から精神障害まで、青年成人期を中心とした障害者福祉全般にかかわり、総合的な地域福祉事業を経営・運営する法人として発展しつ

つある一方、今年度四月から開始

した支援費制度は、障害者が健常者と同じように、生まれ育った地域で暮らせるような施策への方向転換や、本人の人権を守っていく仕組み作りなど積極的な面をもちながらも、現実的には課題の多い制度で、現場の中では矛盾や混乱が現れているという現状があり、こうした経営や制度が大きく変化する時期に、保護者会や家族会の果たす役割が大変大きいものがあることから、法人の呼びかけにより開催されたものです。

研修会に先立っては、一〇月二三日、こぶし作業所つくしの里にお

いて、こぶし作業所、けやき作業所、セルプ・みらい各保護者会役員の皆さんの交流会（懇談会）が行われました。こ

の交流会では、それぞれの会の運営についての情報交換や、こぶしの会への質疑が行われ、大変意義深いものになりました。その中で、改めてこぶしの会の基本的な事項についての研修と、会員からの疑問に答える場

の必要性が話し合われ、今回の研修実施となりました。参加の呼びかけは、理事長と三つの保



1 特集

護者会会長の連名により、第二けやき作業所家族会を含め、全保護者会会員に行われました。交流会には、理事長はじめ複数の理事と平日にもかかわらず保護者二〇名の方が出席してくださいました。藤田理事長の「弁護士になるための研修の中で、作業所を作ろうという運動に関わり、お母さん方と一緒に運動をすすめてきました。弁護士になり現在に至るまで約三〇年、こぶしと関わっています。事業も大きくなりました。保護者の皆さんのエネルギーはけやきやみらいに引き継がれています。そして今後もこぶしらしい運動の中で更に発展していくことと思います」というあいさつの後、はじめに、無認可作業所から法人認可にいたる運動の歴史と三つの理念の誕生。二つ目に、社会福祉法人こぶしの会長期計画策定の経過及び年度計画の特徴と課題そして、社会福祉法人こぶしの会の経営の柱

である財政状況と方針について、法人の各担当者から説明があり、その後懇談となりました。出席された役員の方からは、こぶしの会の歴史や理念設立の経過はよく理解することができた。それは大事なこととして、過去を振り返るだけではなくこれからをどう見据えていくのか長期的展望はあるのか。また、そうした展望にたった財政計画を立てる必要がある等々建設的なご意見をいただきました。認可後四半世紀を過ぎ、組織として大きく発展する一方、法人内にあっても保護者会間の学びや交流がなかなか実現できずにある中、こうした研修の機会が、事業所の枠を越えて交流しあう場の必要性と、これからのこぶしの会発展にとっても、とても重要であることを確認しあうことができた歴史的な一ページを飾ることができました。



こぶし作業所ニュース

ボーナス交渉

12月22日(月)、ボーナスが支給されました。クリスマス・お正月を目前に、何とか間に合いました。というのも、1ヶ月前には要求内容が、ほとんど何も決まっていなかった。やはりお金に関心がないのかと職員が心配していると、突然自治会役員が、活発に動き始めました。帰りの会などを利用して仲間全員の要望をたずねます。「4ヶ月分のボーナスが欲しい」、「新しい送迎車が欲しい」などの意見が飛び交います。毎週のように役員会を開き、要求内容の集約・調整を進めて、いよいよボーナス交渉(要求は3ヶ月分)! 要求書は野中さんが書くことになりました。

12月9日(火)、キッチンセルフから大橋自治会長も駆けつけて、役員全員で所長に詰め寄ります。しかし、所長は手強く、なかなか首を縦には振ってくれません。数日後、ボーナスは0.5ヶ月分支給との回答が…。納得がいらず再度交渉に臨みました。結局、キッチンセルフと冬季物品・カレンダー販売の売上は伸びているが、下請けの仕事が減っていること・紙すき班はこれからという段階で全体として収入が伸び悩み、赤字を覚悟でギリギリ1ヶ月分支給で落ち着きました。また、残り3ヶ月を皆で協力して収益アップを目指して欲しいと提案がありました。

翌日は、日曜作業所でした。支給されたボーナスで忘年会! 楽しく騒いでいる姿がとても印象的でした。

なかま

天谷さん

1月



ある日のことでした。午前中、缶回収に出かけました。久しぶりの外回りの作業で気分も転換できました。昼食時、大好きなメニューなのになぜか箸をつけず待っていました。どうしたのかなと様子を見てみると、缶回収へ行った職員が戻ってきてから、一緒にご飯を食べていました。



日曜作業所 ~ボーリング大会&忘年会~

12月23日(火)、こぶし作業所では日曜作業所を行いました。

自治会役員会を中心に話し合いが繰り返され、ボーリング大会と忘年会を行うことに決めました。その後の企画・進行はレクリエーション部の活動となりました。ボーリング場・忘年会の会場の予約は池田さん。ボーリング大会の景品の買い出しは森下さん。その他、忘年会での役割もそれぞれ持つことに決めました。

当日、ボーリング大会は第2トーヨーボウルで行われました。10レーンを借りての大きな大会となりました。靴も履き替えて、大会の始まりです。

どのレーンからも楽しそうな笑い声が聞こえてきました。1回投げるたびに拍手の連続です。初めての人も得意な人もそれぞれが楽しんでいた様子でした。優勝したのは誰なのか……それは忘年会が始まるまでのお楽しみでした。

忘年会は「割烹あさ田」で行いました。司会は池田さんです。テーブルの上にはすでにおいしい料理が並んでいました。自治会長大橋さんの挨拶が終わり、滝口さんの乾杯の音頭で宴会の始まりです。おいしい料理はあっという間にみんなのお腹の中へ……。さあ、いよいよボーリング大会の結果発表の時がやってきました。25位からの発表。次々と名前が呼ばれ、レク部の阿部さん・鬼頭さん・新田さんから景品をもらって拍手がこぼれました。いよいよ上位の発表です。3位の吉永さんは銅メダルと景品をもらい、記念撮影。2位は見目さん。銀メダルと景品をもらいました。栄えある優勝は大橋さんでした。金メダルと景品・そして大きな拍手をもらいました。みなさん、景品は何だったのでしょうか。

その後はカラオケ大会。司会の池田さんから「最後の1曲です」と言われてもどんどん曲が入れられていました。本当の最後の1曲は森下さんリクエスト「いい日旅立ち」でした。歌う人・踊る人・笑う人(?)……みんな、作業中には決して見られないくらいリラックスして過ごしていました。

前日支給されたボーナスも有意義に使うことができたのではないのでしょうか。

けやき作業所

「二二・一六の集い」

平成一五年五月末、社会復帰施設申請の約八割もの不採択から端を発した、精神障害施設不採択問題。

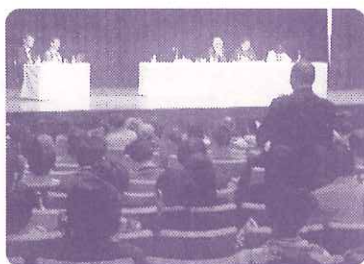
昨年二月一六日、東京九段会館に千名もの同志が集まり(第二けやき作業所からは、スタッフとメンバーの三名が参加)、今年度の精神障害者社会復帰施設の不採択や追加採択が、今も資金面や精神的な不安をもたらしているという全国の代表七名の現状報告が午前中に行われ、午後には、主要五政党代表者によるシンポジウムが行われました。その中で不採択問題に焦点が当てられ、八代議員(自民)からは、一五年度不採択分は平成一六年度に予算計上するとしながら、一六年度認可の見通しは難しいとの厳しい発言がありました。また、一七年度に向けた精神保健福祉法改正の動きの中で、精神保健福祉法の医療と福祉を分離していく必要があり、超党派で改正に取り組んでいくとの力強い発言もありました。

経済再生、失業、年金、拉致

被害、自殺者、少年問題、道路、安保…。国の抱えている問題は様々あれども、「イラク自衛隊派兵での三百億円ともいわれる予算がいとも簡単に計上できたこと」や、「予算が障害者施策を決めていくのではなく障害者施策が予算を決めていかなくはならない」、「議員の間で障害者問題が十分に理解されていない」等、障害者問題に関わる議員からの本音に、議員バッジが背負っているこの国の障害者施策とその取り組み方に期待と不安を感じずにはいられません。

七・二二緊急集会に続いて、今回の二二・一六の集いも、目に見え難い辛さを抱えた仲間と日々過ごす私には、今も緊急課題のままである。

(第二けやき作業所職員)



九段会館にて(議員との質疑応答)



〈総合防災訓練実施〉

12月22日(月)、けやき作業所にて総合防災訓練が実施されました。

突然の火災訓練におどろく方もいましたが、約5分で全員無事避難することができました。消化器を使った消火訓練や消防士(芳賀分所)からの火事の恐さや避難時の注意等の話など、皆さん真剣に参加しました。



けやきトビックス

12月14日(日)、みちの駅はがにて開催された「芳賀町商工会大抽選会」にてクリスマスグッズを販売しました。みなさまのご理解と天気に恵まれ、約3万円の収益がありました。

12月28日(日)、みちの駅はがにて開催された「骨董市」にておでん、けんちん汁、すいとん汁、五目いなり、豆もちを販売し、約3万円の収益がありました。ご協力くださった後援会員、保護者、地域の方、厚く感謝申し上げます。



大雪にも負けず!?

忘年会



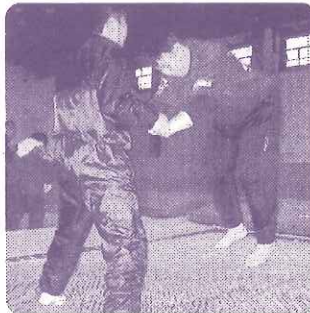
➔ 12月13日(出)、宇都宮市体育館にて栃木県トランポリン協会の広瀬孝子先生のご指導のもとトランポリン教室を開催しました。

初めてトランポリンに挑戦する方も、協会の先生らの丁寧な指導のもと楽しみました! <翌日、参加者全員が筋肉痛になりました…(笑)>

◀ 12月20日(出)、みちの駅はが「トラットリア・マンマ」にて忘年会を開催しました。

各作業班の班長より「今年の課題、来年の抱負、など新年におけるの熱い思いを語り合いました。

トランポリン教室



今日のホリデイ

県東ライフサポートセンターだより

ほっとCHA

新年明けましておめでとうございます。
申年の始まりですね。今年はどんな一年になるのでしょうか？皆様にとってたくさんの幸せの花も咲かせることができるようスタッフ一同お祈りしております。

好評でした、クリスマス大会!(クリスマス会ではなくクリスマス大会です!)

平成13年10月にサポートセンターが開所して以来、毎年恒例となっているクリスマス大会(なぜか今年から大会に……)を昨年の12月23日に開催しました。

王様ゲーム!?でカラオケ大会!?

当日は37名の参加者が集まり、クリスマスカードの配布と自己紹介に始まり、利用者考案の王様ゲームでカラオケ大会(番号で強制指名のルール、男同士のデュエットなんかもあり!)、ビンゴゲームなど多くの企画で盛り上がり、締めくくりは1週間という短い練習期間で当日に素晴らしい演奏を披露してくれた「ハンドベラーズ」(ハンドベル演奏のために5人で結成しました)による「きよしこの夜」演奏と、ささやかなプレゼントをみんなで持ち寄って行ったプレゼント交換で幕を閉じました。参加された皆様からは大変好評な感想が多く寄せられました。



食事は... 少ない会費ながらも豪華!?

今回は利用者さんとスタッフで実行委員会を組んで準備を進めました。一番悩んだのは会費! 悩みに悩んだすえ、会費は800円、少しでも安く美味しいものを! ということで、当日は全て手作りで! 特にケーキは安かったけど豪華なものになりました。

当日参加された方の感想です

- ・久しぶりの参加でとても楽しかったです。また来ます。
- ・今回初めて参加させていただきましたが、いろんな人たちと知り合うことが出来ました。カラオケも盛り上がり、ハンドベルの演奏も素敵でした。
- ・きよしこの夜のハンドベルの鳴る音がとても良かった。

A HAPPY NEW YEAR

ほっとCHAでは年末年始も隔日で開所し、メンバーの皆さんとともに年を越し新年を迎えました。

30日には1日早い年越しそばを、元旦にはお餅を、といたいところですが「も～餅は食べたくないよ～」との声に各自自由におすしあり、パンあり、スープありの何でもありで新年を迎えることとなりました。

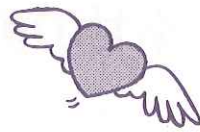
1日にはみんなで近所の「祖母井神社」に初詣に行き、それぞれの願い事をじっくりと祈願し甘酒に舌鼓を…。今年一年を占い、おみくじをひく姿もあり、楽しい初詣となりました。

リラックスルームにていただき物のみかんをお供にカードゲーム「UNO」に燃え、「笑う角には福来る」とばかりににぎやかに過ごしました。

申年、メンバーさんにとってまたひとつ楽しい思い出ができる年となるといいですね。

今年も1年どうぞよろしくお祈りします。

みらいニュース



餅つき大会を行いました

仕事始めの一月五日(月)、セルプ・みらいの駐車場で餅つき大会を行いました。今回は利用者・保護者関係・職員の参加で行い総勢五四名の参加者となりました。今ではあまり見られなくなった光景に皆、興味津々の表情で餅つきの様子に見入っていました。そのうち、俺も・私もついてみたいとの声が聞こえてきて、餅つきの順番待ちができたほどでした。もちろんお餅はその場でいただきました。本薬味も五種類用意し、やはりお雑煮。本場に満足のいく、年始めのスタートでした。セルプ・みらいではこの冬の風物詩を毎年恒例のものとして続けていきたいと考えています。また、「来年もおいしいお餅を食べられる」という小さな幸せを糧に、セルプ・みらいはスタートします。

「成人を祝う会」の開催

今年二〇歳になるという節目の年を迎える仲間を、皆でお祝いしよう、「成人を祝う会」を、一月九日(金)に行いました。若い仲間が多いセルプ・みらいでは、何と八人も新成人が誕生しました。男性は、金谷浩之さん、椿義一さん、富山浩司さん、矢田佳紀さん、渡辺重晴さんの五名で、女性は、佐護麻子さん、佐藤真理さん、藤沢由紀さんの三名です。この八名は、仕事をはじめ、さまざまな分野で活躍を期待されるみらいのホープであり、これから、みらいの中心となっていく仲間たちです。

会には、新成人たちのお母さん方も出席され、仲間による司会で進められました。スーツや着物などの晴れ着に身を包んだ新成人たちは、いつもと違う格好のためか、少し緊張の面持ちで、「世界に一つだけの花」の曲に合

わせて、登場しました。「家族からの手紙」のコーナーでは、それぞれの家族から成人を迎える仲間への、愛情溢れる思いが綴られ感動的でした。また、仲間からは、大人としての先輩としての激励の言葉が送られました。それを受けて、新成人の一人ひとりから、「がんばります」「大人として、仕事をがんばります」など、力強い誓いの言葉を聞くことができました。最後になりましたが、「家族からの手紙」の一部を抜粋して、ここに、紹介したいと思います。

「成人おめでとう。これで、浩之も大人の仲間入りですね。二〇年、いろいろなことがありました。発作で入院をしたり、大怪我をして手術をしたり、怖い思い、痛い思いをさせてしまつてごめんない。セルプ・みらいに通所して二年、浩之も大人の仲間入りをしたのだから、他の仲間と仲良くできるように、がんばろうね。お母さんからお願いです」
(金谷浩之、母より)

「小さいころは、自転車に乗せてもらったりして、おじちゃんにとてもかわいがつてもらいました。義つちゃん、お母さんやおばちゃんが元気なうちに、明るくて素直なお嫁さんを連れてきてください。そして、はやく安心させてください」
(椿 義一、母より)

「小さいころから、とてもやさしい子でした。物を食べるときも、全部食べないで一つはママの分と言って、残しておきます。とてもやさしいママ思いの浩司です。今日晴れて、成人の日を迎えるに当たって、このままのやさしい気持ちを忘れずに、自立できるように、見守ってあげようと思います。おめでとうございます」
(富山浩司、母より)

「佳紀、成人おめでとう。大人の仲間入りだね。お母さんは、成人になる佳紀に三つのお願いがあります。一つ目は、他人に迷惑をかけること。二つ目は、時間を守ること。三つ目は、お金を計画的に大切に使うこと。一人前の大人になるよう、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、おじちゃん、おばちゃん、みんな応援しています。いつまでも明るく笑顔のよく似合う佳紀でいてください」
(矢田佳紀、母より)

「麻子さん、あなたも今日から、大人の仲間入りですね。誕生から今日まで、あつという間でした。あなたと一緒に無我夢中で走り抜けた二〇年間でした。この間に、たくさんの方々と出会いました。各方面の方々の出会いを通して、今日のあなたがあるのだと思います。これからも、多くの出会いを通して、成長していくことでしょう。私もなかなか離せない手を振りほどいて、健康で楽しい日々が送れるように、後からあなたを見守っていこうと思います」
(佐護麻子、母より)

「由紀ちゃん、成人おめでとう。いつの間にか成人式をあげる年になったんだね。成人式には、振袖を着るのかな?これから、大人の女性としてステキな由紀ちゃんになってね。そして、友達といっしょに仕事もがんばってね」
(藤沢由紀、姉より)



幸せの黄色いレシートキャンペーンにご協力を!!

ジャスコ小山店では、毎月11日、イオンデーということで地域貢献の一環として“幸せの黄色いレシートキャンペーン”を行っています。こぶしの会も「みんなでつくる作業所」ということが認められ、昨年12月より15団体の仲間に入りました。

協力方法としまして、毎月11日にはジャスコ直営の食品売り場や洋品売り場で黄色いレシートが出ます。その黄色いレシートを正面入口（食品売場入口）に設置してあるこぶしの会の箱に入れてください。また、家計簿をつけるなどレシートが必要な人は、サービスカウンターで代替りのレシートが貰えます。その代替りのレシートを箱に入れてください。レシートの1%が、こぶしの会に年に2回、商品や商品券などで還元されます。

日 時	毎月11日
場 所	ジャスコ 小山店
箱設置場所	正面入口（食品売場入口）
方 法	黄色いレシートをこぶしの会の箱に入れる

小山周辺のお知り合いの方、ジャスコにお勤めの方にもお願いしていただけたら幸いです。どうぞよろしく申し上げます。

社会福祉法人 こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028(662)1911 FAX 028(662)1912
- 生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028(613)5703
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルプ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内
TEL 028(622)0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028(667)5531
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
デイサービスセンター TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818
- 県東ライフサポートセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028(687)0311 FAX 028(687)0325
- すずらの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028(677)4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028(677)2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025
TEL 028(677)0776
- セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所

郵便番号 一七〇七三

東京都世田谷区砧六-二六-二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円